

# 和地ひとみレポート No.64

## 初めて行政評価に試行で市民目線をプラス！！



### ■毎年、市の事業を振り返り

…市では毎年、より簡素で効率的な行政運営の実現を目指すため行政評価を実施。東大和市の今年度の事業評価では419の事業についてその効果などについて評価を検証していますが、より客観性の高い判断が必要な事業については自己評価だけではなく『行政評価推進会議』において最終評価を実施しています。

…このような取り組みは多くの自治体で実施されていますが、東大和市の行政評価の方法は、先進自治体と比較し、遅れていることが問題となっていました。そのような中、市は今年度から民間的な視点や市民感覚の行政施行者ではない外部の意見を取り入れることを試行としてスタート。市内で活動をしている団体の代表や他自治体で勤務していた経験のある市民5名に依頼し、無償にて行政評価委員になっていただき『外部評価会議』を開催。7月に5日間、行政の財政改革のプロのアドバイザーをコーディネーターとして迎え、事業の内容から行政の在り方などについて共に学びながら、実効性を高める行政評価を目的に様々な意見が出し合われました。

### ■市民目線、感覚でみた事業評価

…今回出された『外部評価会議』の結果を見た和地ひとみの感想は『市民感覚が出ている』です。行政が良かれと思っている事業でも市民感覚からかけ離れていると感じるものも多数あり、それが、市民と行政との感覚のズレを大きくしていることは様々なところで問題となっています。和地ひとみも市議会議員として市の事業や

事情を理解しながらも、問題点を取り上げ、提言していますが民間や市民の感覚での意見がなかなか理解されない、受け入れられないということがあることも事実です。今回の外部評価委員の方の意見にもありましたが、市民も自身が当事者となる事業だけではなく市の事業を体系的に把握し、理解することで、市民の意識も変わり、行政側も市民の意見をより効率的に反映させられるようになることで、より良い市政運営を行えます。

…今回は試行的に行われた初の取り組みですが、今後、この取り組みを発展させ、拡大していくことで、より多くの市民の市政への理解が深まり、また市民感覚が反映された市政が実現し『納得感のある市政』に近づけることが可能になると思います。

…昨今、東大和市だけではなく多くの自治体で掲げていることに『市民との協働』がありますが、協働の前にやるべきことが、この市民目線を取り入れた『行政評価』ではないかと思っています。

…情報公開の重要性は当然ですが、一方通行での情報公開では、市民に理解してもらおうという姿勢が十分ではありません。市民に理解してもらえないと嘆くよりも、互いに意見を出し合い、建設的に結論をだす場を持ち情報公開を行う方が、実のある結果を生み出すと考えます。市行政側の本音を知ることでも分かることもあり、実効性の高い解決方法が見つかる可能性は高まります。是非とも、このような取り組みは試行で終わらせず、より効果的な方法で継続して取り組むべきと考えます。

### ■外部評価の総括

- ・一つの結論を出すという形ではなく、外部評価委員が一市民としてどう考えるかを率直に出し合った。したがって、個々の意見を今後の事業展開に向けて参考にされたい。
- ・行政分野を超える予算の財源移動も含めて、事業の成果向上を図るといった観点が必要だ。
- ・給付、補助事業、イベント的事業等、類似する評価対象外事業についても共通する見解を述べているので参考にされたい。
- ・委員として説明を受けて知ったことが多くあった。これは市のPRはもとより、市民が知ろうとする努力も必要だ。

### ■外部評価を行なった16事業の一例

(評価結果欄の数字は方向性を示した委員の人数委員は全部で5名。コスト、成果の矢印は→維持、↓削減、縮小、↑向上)

| 事業名       | 評価結果 |      |         |       | 意見                             | コスト | 成果 |
|-----------|------|------|---------|-------|--------------------------------|-----|----|
|           | 拡大方向 | 現状維持 | 廃止に向け縮小 | 休止・廃止 |                                |     |    |
| 学童保育所運営事業 | 3    | 2    |         |       | 現状コストを前提に子供に焦点を宛てたサービス向上を工夫する。 | →   | ↑  |
| 市民体育大会    |      |      | 1       | 4     | 事業の目的を整理して、事業そのものを再考する時期に来ている。 | ↓   | ↓  |

